



# 私の なんとか しなきゃ!

Vol. 42

## PROFILE

1972年神奈川県出身。元サッカー日本代表MF。2004年の名古屋グランパスエイト退団まで国内6チームに在籍。06年にニュージーランドのクラブチームと契約を結び、同年12月のFIFAクラブワールドカップにはオセアニア地区代表として出場。引退後はサッカー解説者として活動する傍ら、全国各地でサッカー教室を開催している。一般財団法人mudéfアンバサダー。

現役を引退してから、時間を見つけては、世界各地を旅していました。それまで海外の選手と話をする機会はありましたが、やはりそれだけでは、彼らの国の実情はよく分からない。自分の目を見てこそ、感じるものがある。現場に行くことが、世界を知る一番の近道だと考えていました。

東日本大震災の時もそうでした。仙台のチームでプレーしていたこともあって、いてもたってもいられなくなり、1週間後に石巻市に緊急支援物資を届けに行きました。あの時の光景、独特の臭い、人々の表情は、目に焼き付いています。そこで出会った地元の人たちとつながりが生まれ、その後も被災地でサッカー教室を開いたりしていました。

これまでいろいろな国に行きましたが、サハラ以南アフリカだけは未知の世界でした。実は“怖い”というイメージがあったのですが、本当はどのような場所なのかずっと気になっていたのです。そう考えていた時に、縁あって、一般財団法人mudéfの方に声をかけていただ



## 自分の目で見て感じる

# 岩本 輝雄

サッカー解説者

IWAMOTO Teruo

き、西アフリカのセネガルに行くことになりました。

現地に到着したのが夜だったこともあり、辺りは真っ暗で「すごいところに来てしまった」と。でも朝になると、目の前には青い海、活気のある街並みが広がっていました。そこにはすでに、僕が想像していたアフリカとは違う世界がありました。

今回の訪問の目的は、マラリアに苦しんでいる人たちに蚊帳を届けること。日本の皆さんから集まった寄付で購入したものです。一般の家庭にもおじゃまして、蚊帳をつるすお手伝いもさせていただきました。「これで安心して眠れるわ」と、お母さんがとてもうれしそうな表情を見せてくれたのですが、それだけ日々過酷な現実を生きているのだと感じました。

そして、現地でもう一つ楽しみにしていたのがサッカー教室です。アフリカの選手は身体能力が高く、セネガルはFIFAワールドカップに出場経験のある強豪国です。でも地元のサッカークラブの

見学に行ったら、練習場の地面が砂だったのです。僕たちは当たり前のように整備されたグラウンドを使えるけれど、彼らはこのような状況の中で必死に練習に励み、強くなりたいと這い上がってきているのだと知って、気が引き締められました。

初めてのサハラ以南アフリカの感想は一言、「行ってよかった」。厳しい現実の中で、明るく元気に生きるセネガルの人々に励まされました。家族や友達を大事にしている、みんな一緒にいることができればそれで幸せだと。それは、今の日本人が忘れてしまっていることではないでしょうか。これからも多くの国に足を運び、僕自身が感じたことを伝えていきたいと思っています。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトやFacebookの専用ページを通じて、さまざまな国際協力の情報を発信していきます。

なんとかしなきゃ で 検索

※岩本さんのセネガルレポートは、mudéfのホームページ(loveisfree.mudéf.net/)でご覧になれます。